

JA全農ウィークリー

皆さまからの温かい応援ありがとうございました。

全日本卓球選手権大会 女子シングルス優勝 石川佳純(全農)

6-7面

全農グループ会社探訪

株式会社えひめ飲料
(広報・調査部)



写真提供：ニッタクニュース

2 「スマート みどりくん[®]」
2020年農業技術10大ニュースに選定
(営農・技術センター肥料研究室)

ドライブシアター形式の展示会初開催
(茨城県本部)

3 「アグリチャレンジ2020」開催 (富山県本部)

全国Aコープ協同機構が
SDGs対応方針策定(くらし支援事業部)

4-5 TACパワーアップ大会2020開催 (耕種総合対策部)

8 「お米甲子園」最高金賞の 山形県立置賜農高に全農賞 (米穀部)

東北6県の花の詰め合わせ
「東北六花」EC販売
(東北営農資材事業所・東北6県本部)

JAタウンショップ紹介

JA全農えひめ直販ショップ

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

News!



「スマート みどりくん[®]」2020年農業技術10大ニュースに選定

簡易土壌分析ツールに高い評価

営農・技術センター肥料研究室

簡易土壌分析ツール「スマート みどりくん[®]」



お問い合わせ先は
こちら

【メール】

zz_zk_sumamidori
@zennoh.or.jp

「農業技術10大ニュース」は、その年に新聞記事となった農林水産研究成果の中から、内容が優れた社会的関心も高いと考えられる成果を農業技術クラブの加盟会員による投票を得て選定されるものです。

「スマート みどりくん[®]」は昨年7月に販売を始めました。土壌養分濃度を示す試験紙を目視で判定していたところを、「スマート みどりくん[®]」を使うと分析値がスマートフォンに表示され、客観的に判断できます。このように簡単に分析結果に基づいた施肥管理ができる点が、評価されました。

これを機に「スマート みどりくん[®]」を、より多くの人に利用いただくことで、現場の土づくりと適正な施肥に貢献していきます。

営農・技術センター肥料研究室が開発した簡易土壌分析ツール「スマート みどりくん[®]」が、農水省農林水産技術会議の「2020年農業技術10大ニュース」に選定されました。

News!



ドライブシアター形式の展示会初開催

共同購入トラクター（中型）も県内初披露

茨城県本部

大型モニターが設置された会場



茨城県本部は3密を避けた新しい生活様式に合わせた展示会として、ドライブシアター形式の農機ショー「JA&クボタドライブイン農機ショー2020」を、昨年11月に県内生産者向けに初めて開き、当日は104人（車47台）が参加しました。

会場には270インチの大型モニターを設置し、来場者はモニター前に自家用車を駐車。車載FMラジオを通じて生放送を聴きながら農機ショーに参加しました。参加者は、車内から共同購入トラクター第2弾「SL33L（製造元…株式会社クボタ）」の県内初披露や新型農機紹介、公道走行規制緩和に伴う案内、大型特殊免許の取得啓発などの講習を受けました。

参加者の自家用車の前を紹介した実機が走行するなど、ライブ感覚で観覧いただきました。



「アグリチャレンジ2020」を開催

各社の最新農機を多数展示

富山県本部

多くの来場者が集まった
最新農業用ドローン展示



熱心に農業機械を確認
する来場者



5年目となる今回は、主
穀作用大型農業機械を中
心に約500点展示した
他、低コスト・省力化に役
立つ肥料・農薬など生産資
材の情報提供や、「生産者・
JAなど全国1万人の声
を反映した共同購入トラク
ター第2弾」、「高機能・高
性能な富山県JAグルー
プいちおしトラクター」、
最新農業用ドローンをはじ

めとするスマート農業関連
機械の展示や提案を行いま
した。
また、県内生産者や流通
関係の代表者を招き、「野菜
導入による経営複合化の成
功への道」と題して活発なパ
ネルディスカッションが行
われました。来場者の熱心に
聞き入っている様子がとて
も印象的でした。

当日は、「新型コロナウイルス

ルス感染拡大
にかかる富山
県指針」に基
づき、来場者・
スタッフ全員
の手指消毒と
検温の徹底は
もちろん、3
密を避けたレ
イアウトや動
線の確保を工
夫した上で開
催しました。

富山県本部と富山県JAグループは昨年12月11、12の両日、
富山市の富山県産業展示館（テクノホール）で、担い手経営体
を対象に「アグリチャレンジ2020（担い手農業機械展示
会）」を開きました。2日間で約1900人が来場しました。



全国Aコープ協同機構がSDGs対応方針を策定

四つの取り組みで数値目標

くらし支援事業部



JAファーマーズAコープ街かど畑（佐賀）店
頭で農産物直売コーナーの取り扱い拡大

JA全中が昨年5月に
発表した「JAグルー
プSDGs取組方針」を踏ま
え、全国Aコープ協同機構
としての取り組みを定めた
ものです。昨年11月に同機構
が開いた「令和2年度第2回
経営会議」で策定しました。
国連が定めたSDGsの
17の目標の中で、15番に当
たる「陸の豊かさを守る」活
動として、農産物直売コー
ナーの取り扱い拡大や、農
産物直売所とAコープを一
体化したファーマーズ型店

全農が事務局を務め、全国13のAコープ運営会社が加入
する「全国Aコープ協同機構」は「全国Aコープ協同機構
SDGs対応方針」を策定しました。国連が定めたSDGs目
標の実現に向け、数値目標を定めて取り組みを進めます。

舗の出店などで数値目標を
定め、積極的に地産地消を
進めます。同じく11番に当た
る「住み続けられるまちづ
くり」として、買い物困難者
の支援に向けた移動購買車
の運行、店舗での利用者懇
談会の実施でも数値目標を
掲げて取り組みます。

その他、同5番に当たる
「ジェンダー平等の実現」な
ど3項目に関しても、女性
管理職比率の向上や障がい
者、外国人の雇用比率の向
上などについて同機構とし
ての数値目標を今後策定し、
取り組みを進めます。

今回の方針に基づき、これ
まで以上に環境・社会貢献
を果たすとともに、農家組合
員や消費者、
取引先から
信頼される
店づくりを
進めます。

全国Aコープ協同機構
ホームページはこちら





TACパワーアップ大会 2020開催

意欲・活動レベルの向上へオンラインで役割を共有

全農は1月14日、東京・大手町のアグベンチャーラボ (AgVenture Lab) で「TACパワーアップ大会2020」を開きました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度はオンラインで開催し、優れた取り組みを展開するJA・TACの表彰や事例発表を実施。取り組み意欲や活動レベルの向上に向け、担い手や地域の課題解決に向き合うTACの役割を広く共有しました。

【耕種総合対策部】



リモート開催されたパワーアップ大会に参加したJA、TACと菅野会長ら

4JAとTAC9人、TAC通信2JA、
トップランナーズ2JAを表彰

今大会は、「出向く態勢の強化とJAの総合力の発揮」、「環境変化に柔軟に対応するTAC活動の実践」、「TACのネットワーク強化」をテーマに、活動表彰や取り組み事例発表などを行いました。この様子はYouTube Liveで全国に配信しました。

全農の菅野幸雄会長は冒頭のあいさつで、「担い手からの要望が多様化、専門化しており、TACには地域農業のリーダーとしての役割も期待されている」、「地域農業のリーダーづくりに積極的に取り組み、全国のTACがよりいっそう活躍できるよう最大限支援していく」と述べました。

表彰式では、全農会長賞のJAぎふをはじめ4JAを表彰した他、TAC表彰では9人、担い手向けTAC通信表彰では2JAを表彰しました。また、過去の大会で全国表彰を3回以上受賞し、TACの活動を高いレベルで継続しているJA新いわて、JAふくおか八女については、TACトップランナーズJAとして表彰しました。

スマート農業の展開や

労働力確保など取り組み報告

事例発表では、いずれもTACの出向

TACパワーアップ大会2020 活動表彰審査委員会 審査結果

TACトッパンナーズJA表彰

岩手県 新岩手農業協同組合
福岡県 福岡八女農業協同組合

JA表彰

岐阜県 ぎふ農業協同組合【全農会長賞】
岩手県 岩手中央農業協同組合
岐阜県 西美濃農業協同組合
愛媛県 越智今治農業協同組合

TAC表彰

岩手県	花巻農業協同組合	葛巻 剛 氏
岩手県	大船渡市農業協同組合	中村 明子 氏
岩手県	いわて平泉農業協同組合	菊地 俊郎 氏
石川県	小松市農業協同組合	橋本 克巳 氏
石川県	石川かほく農業協同組合	櫻井 和幸 氏
愛知県	豊橋農業協同組合	古志野 瑞樹 氏
滋賀県	おうみ富士農業協同組合	内藤 彰紀 氏
島根県	島根県農業協同組合	渡部 直樹 氏
島根県	島根県農業協同組合	片寄 俊一 氏

担い手向けTAC通信表彰

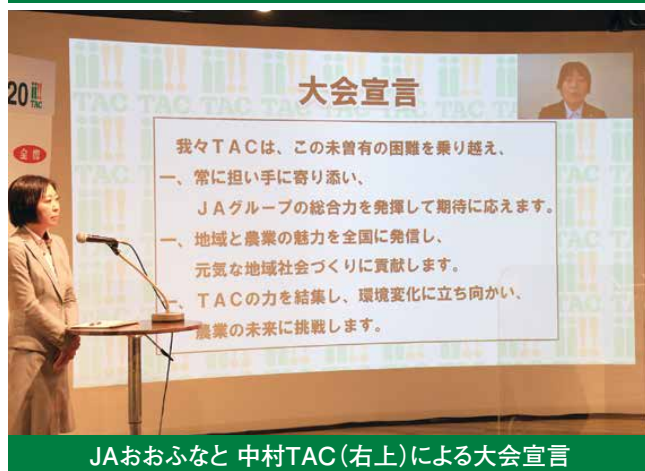
石川県 金沢市農業協同組合
兵庫県 たじま農業協同組合



開会あいさつをする菅野会長



全国のTACへメッセージを送るJA小松市 橋本TAC



JAおおふなと 中村TAC(右上)による大会宣言

く活動を起点に、JAグループの総合力を発揮している取り組みが報告されました。具体的には、「ZIGIS」などスマート農業支援ツールの提案による栽培・圃場管理の効率化や、担い手や実需者のニーズに沿った生産振興・新規作物の導入提案、労働力確保に向けたマッチング支援、「農家手取り最大化」の実践など、コロナ禍の中で担い手や地域が抱える課題の解決に向けた多様な取り組み事例が発表されました。

受賞TACに加え 石川選手からのメッセージも

受賞者によるメッセージ動画も放映。受賞TACが日頃の活動に対する思いやこだわり、全国のTACへのメッセージを発信しました。全農所属の卓球女子日本代表・石川佳純選手から全国のTACへのメッセージ動画も届きました。動画では日頃の活動への激励と、担い手とともに日本農業をさらに盛り上げてほしいとのエールが送られました。最後は全国の視聴者をリモートでつなぎ、会場のスクリーンに投影して大会を締めくくりました。

全農は今後もTACの取り組みを全力で支援し、全国のTACの力を結集して担い手や地域の課題に添えていきます。

全農グループ 会社探訪

株式会社えひめ飲料

高い加工技術生かし商品開発 愛媛県産柑橘の生産者を下支え

ポンジュースをはじめとするPOMブランド製品の製造・販売や大手飲料メーカー製品の受託製造など、幅広く飲料事業を手掛けているのが株式会社えひめ飲料です。長年培ってきた高い加工技術を生かし、安全・安心で魅力ある商品を開発。事業の基盤となる県産柑橘生産者の下支えの役割を、一貫して追求しています。

【広報・調査部】



「こだわりははじめです。」POM製品

ミカン価格暴落契機に発足

えひめ飲料は、1948年に「愛媛県青果販売農業協同組合連合会」として発足しました。市場価格の暴落で商品価値を失ったミカンを有効活用し、ミカン産業の振興に寄与することを目的に1952年に果汁加工事業を開始。以降、柑橘生産者の下支えとして事業を展開してきました。青果市場へ出荷できない規格外の果実や市場価格安定のための調整果実を生産者からJAを通して購入し、ジュースや果汁に加工、販売して得た利益を、生産者へ還元することが加工事業の大きな役割でした。

1998年に愛媛県経済農業協同組合連合会と合併し、



搾汁のために運び込まれた大量のミカン

愛媛県農業協同組合連合会となり、2003年に「株えひめ飲料」を設立。現在は、松山工場、東京工場、茨城工場の3工場体制で搾汁から各種清涼飲料水の製造販売を中心に事業を展開しています。

POM製品販売から 大手メーカーの受託製造も

現在の主要事業の一つが、POM事業です。おなじみのポンジュースの他、愛媛県産や国産にこだわったPOMブランド製品を発売しています。さまざまな柑橘を素材に、果汁のおいしさや健康、なによりも安全・安心な商品の提供に力を入れています。

各種果汁・農産加工品の製造販売にも取り組んでいます。かつてはミカン果汁をはじめ国産果汁や、県下JA加工場で製造される農産加工品を中心に販売していましたが、現在は国産加工原料の減少に伴い、これまで培ってきた知見や加工技術を生かして一部、海外産果汁農産加工品も取り扱っています。

また、大手飲料メーカーや乳業メーカーから各種飲料製品の製造も受託するOEM事業

も展開しています。

事業強化へ容器・ 包材製造の体制整備

近年の飲料業界は、容器や包材の製造技術・設備が急激に進化しており、その流れに追いつかなければ生き残れない、厳しい状況にあります。こうした中、現在の飲料製造設備の主流は、工場内でボトルを成型し常温で充填を行うペットボトル無菌充填ラインとなっています。えひめ飲料ではこの設備を2014年に茨城工場、2019年に東京工場に導入し、関東2工場での製造体制を確立。これにより、一層のPOMブランド製品の収益拡大や、OEM製品の受託獲得を進めています。

愛媛ならではの特徴ある 製品展開で消費拡大

代表取締役社長 山本 卓治氏



近年は、原料果
実も少量多品種
化が進んでいます

が、生産者から出荷される原料用果実は品種を問わずすべて引き取り、生産者の下支えになるという考えは、創業当時からそのまま受け継いでいます。残念ながらミカンの生産量は、1970年代ピーク時の5分の1、加工用原料果実は約20分の1まで減少し、果汁加工事業には大変厳しい事業環境となっています。厳しい環境下ですが、きよみやポンカンといった温州ミカン以外の柑橘を有効活用した「えひめ逸品柑橘シリーズ」など、特徴のある柑橘飲料を量販店へ販売、通販サイトへも愛媛ならではの製品を展開し、県産柑橘の消費拡大に努めています。



県外不出の「ポンジュース蛇口」

柑橘の新たな価値創造、 被災地・地域支援にも力

長年にわたる試験・研究成果により、ミカンに多く含まれ、骨の良好な代謝を助け骨の健康維持に役立つといわれる機能性成分「バークリプトキサンチン」をアピールしたミカンジュースや、認知機能（記憶力）の維持に効

果が期待できる「オーラペン」を含む河内晩柑のジュースなど、機能性表示食品の開発に積極的に取り組み、愛媛県産柑橘の消費拡大に貢献しています。

「県外不出」として話題を呼んだ幻の「ポンジュース蛇口」は、松山空港で毎月1回、空港利用客に無料でジュースを提供し、喜ばれてきました。2011年

の東日本大震災発生時には、それまで堅持してきた県外不出の掟を破り、東北の被災地に蛇口を設置。被災地の方々に少しでも元気づけたいと、ポンジュースを無料提供しました。

また、柑橘の加工技術に関わるさまざまな知識・技術は日本のトップクラスです。ポン製品だけでなく国内で販売

会社の概要（令和2年3月31日現在）

本社所在地 愛媛県松山市安城寺町478

事業内容 清涼飲料水の製造・販売、柑橘の搾汁、果汁農産加工品の製造、仕入、販売

設立年月 平成15年4月

代表者 山本 卓治（やまもと たくや）

従業員数 327人（臨時、受入出向者、パート含む）



本社（松山市安城寺町）

公式ホームページ はこちら



商品紹介をはじめ、ポンジュースの歴史や名前の由来、ポンジュースを使ったレシピなどを紹介しています。

されている飲料等は、えひめ飲料が携わった原料が数多くあります。愛媛県の小学3年生の社会科の授業の一環で、毎年40〜50校、約4000人の児童の工場

えひめ飲料の「POM愛媛の柑橘ジュース詰め合わせ」を 5名様にプレゼントします

応募方法

件名に「グループ会社探訪プレゼント」、本文に郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、JA全農ウィークリーの感想をご記入の上、メールにてご応募ください。

応募先 zz_zk_zennohweekly@zennoh.or.jp

締め切り 令和3年2月5日（金）23時59分



※応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

見学を長年にわたり受け入れるなど、地域に根差した活動にも力を入れています。



「お米甲子園」最高金賞の山形県立置賜農高に全農賞

全国の農業高校生たちが育てたお米のおいしさを競う大会「第11回全国農業高校お米甲子園」が昨年11月28日、無観客で開かれ山形県立置賜農高が「最高金賞」を受賞しました。【米穀部】

全農は、昨年度から同大会に特別協賛しており、12月21日に同校を訪問し、代表生徒や校長ら関係者に副賞として全農賞(農作業用キャップ、全農グループブランド菓子詰め合わせ)を授与しました。また、当日は地元のJA山形おきたまの木村敏和組合長もお祝いに駆けつけ、大会優勝旗を手渡していただきました。

全農は、お米甲子園への協賛を通じて、未来の米作りを担う高校生を支援するとともに、お米への関心を高め、お米の消費拡大を図ります。



受賞を喜ぶ代表生徒と関係者の皆さん

東北6県の花の詰め合わせ「東北六花」EC販売 花き生産者支援のため「花BOX」とタイアップ

全農東北プロジェクトは昨年12月から、東北6県の花を詰め合わせた「東北六花(とうほくろっか)」をEC(電子取引)で販売を始めました。【東北営農資材事業所・東北6県本部】

「東北六花」は、全農東北プロジェクトが新型コロナウイルスの影響で需要が減少する花き業界と生産者支援の目的で、花のEC販売サービス「花BOX」とタイアップして企画しました。東北6県のJAから出荷されている花を詰め合わせて販売しています。

同商品は、家族や友人とシェアできる「大

サイズBOX」と、ちょっとした贈り物や一輪挿しにもぴったりの「小サイズBOX」の2種類あります。

SNSのインスタグラムで「#東北を飾ろう」とハッシュタグを付けて投稿すると特設サイトで紹介されるようにし、産地応援につなげます。

購入は
こちらから



BOX大(上)とBOX小



JA全農のインターネットショッピングモール JAタウン ショップ紹介

JA全農えひめ直販ショップ

愛媛県オリジナルの柑橘「甘平」は、2007年8月に品種登録され、愛媛県内でだけ栽培が認められている品種です。特徴的な平らな外見と、強い甘みがその名前の由来となっています。栽培がとても難しく生産量も少ないため、希少な柑橘として販売されています。

「甘平」の果肉は、シャキッとしたプチプチ食感。果汁もたっぷりで、濃厚な味わいです。手で皮がむきやすく、じょうのう(薄皮)は薄いので、そのままお召し上がりいただけます。



甘平(秀L15玉~3L10玉)JAにしろわ
.....6000円(税込み)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com

